

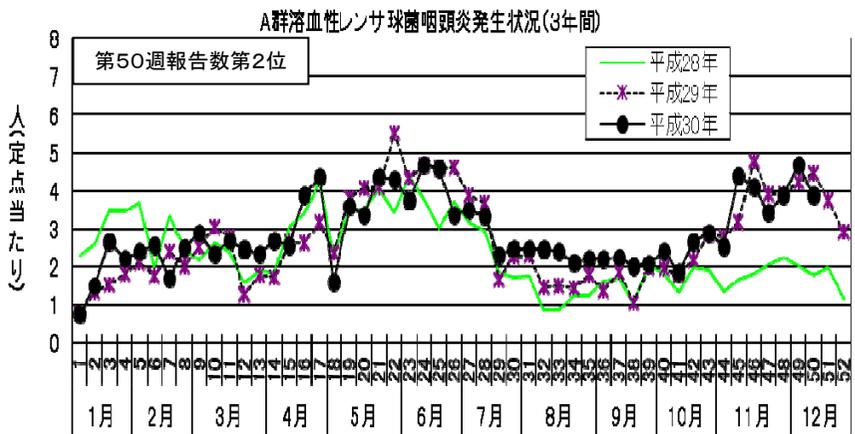
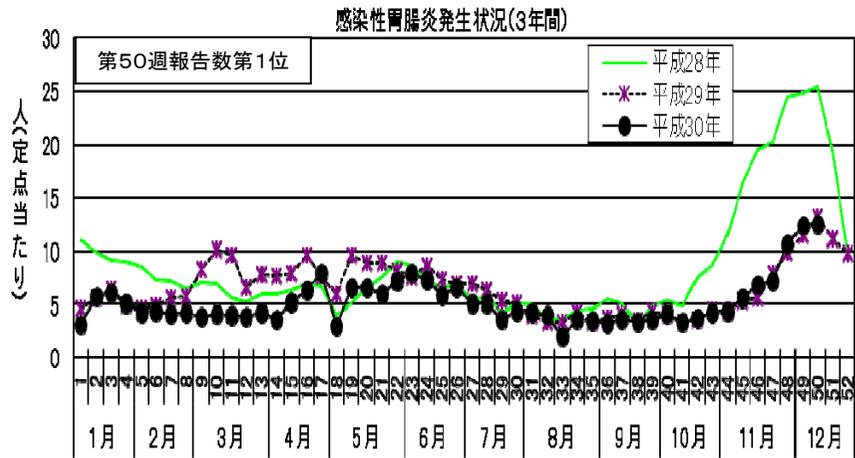
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年12月10日（月）～平成30年12月16日（日）〔平成30年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は12.57人と前週（12.41人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.89人と前週（4.68人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.16人と前週（0.93人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

★インフルエンザウイルス★
インフルーくん



インフルエンザ～流行シーズン開始！～

今年はインフルエンザの流行の開始時期が遅く、全国では先週から本格的な流行シーズンに入りました。

川崎市でも、平成30年第50週（12月10日～12月16日）の定点当たり報告数が2.16人と流行開始の目安となる定点当たり1.00人を超え、過去5年平均と比べて3週間遅れて流行期に入りました。

インフルエンザは咳やくしゃみなどの飛沫により感染が広がりますので、手洗いやうがいなどの基本的な予防対策に加え、咳エチケットを心がけましょう。

インフルエンザとは？

【感染経路】

飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】

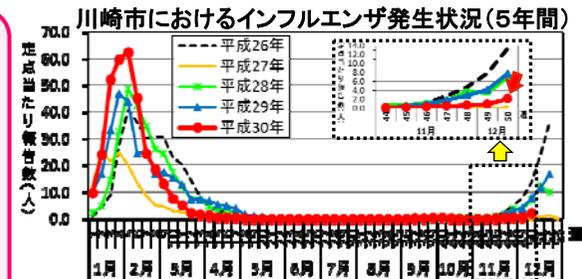
概ね1～4日間

【主な症状】

発熱（通常38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛など

【予防方法】

- ・ワクチン接種
- ・手洗いの徹底
- ・適度な湿度の保持
- ・十分な休養とバランスのとれた食事
- ・人混みや繁華街への外出を控える



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ(第50週)

